



## 2024 WORLD ROWING MASTERS REGATTA BRANDENBURG

### 参加報告書

国際審判員（東京）成田 泰久

#### 1. はじめに

ドイツ・ブランデンブルグにて開催されましたマスターズレガッタに審判として参加しましたので、ご報告いたします。国籍や年齢、性別を問わず、仲間とローイングを楽しむ選手の姿がとても印象的な大会でした。

本派遣を推薦して頂きました日本ローイング協会関係各位に御礼申し上げます。

#### 2. 大会概要

##### (1) 大会名

2024 WORLD ROWING MASTERS REGATTA BRANDENBURG

##### (2) 開催地

“Beetzsee” regatta course 1,000m

Brandenburg an der Havel, Germany

※1969 開設以来、世界ジュニア等開催



##### (3) 期間

2024年9月11日～15日

##### (4) カテゴリー

**A:** Minimum age: 27 years

**B:** Average age: 36 years or more

**C:** Average age: 43 years or more

**D:** Average age: 50 years or more

**E:** Average age: 55 years or more

**F:** Average age: 60 years or more

**G:** Average age: 65 years or more

**H:** Average age: 70 years or more

**I:** Average age: 75 years or more

**J:** Average age: 80 years or more

**K:** Average age: 83 years or more

**L:** Average age: 86 years or more

**M:** Average age: 89 years or more

※Age categories do not apply to coxswains of Masters crews.



(5) 参加選手

726クラブ、3,644選手、51ヶ国

(日本から54名(男性45名、女性9名)参加)

(6) 動画配信 (You Tube)

<https://worldrowing.com/event/2024-world-rowing-masters-regatta>

### 3. 参加審判員

President of the Jury	Holger Siegler (WR/OC)
President of the Jury	Karin Stephan (WR/OC)
International Jury	Diego Cejas (ARG)
International Jury	Nora Pfandlsteiner (AUT)
International Jury	Luciana Carvalho (BRA)
International Jury	Debbie Sage (CAN)
International Jury	Helena Huljev (CRO)
International Jury	Lars Christoffersen (DEN)
International Jury	PANKATZ Daniel (GER)
International Jury	Angela Alonso Fernandez (ESP)
International Jury	Daniel Gutierrez Praena (ESP)
International Jury	Priit Purge (EST)
International Jury	Etienne Mercier (FRA)
International Jury	Christopher Anton (GBR)
International Jury	Erhard Engelmann (GER)
International Jury	KORGITZCH Frank-Michael (GER)
International Jury	Yasuhisa Narita (JPN)
International Jury	Magdalena Klapp Escribano (MEX)
International Jury	Bastiaan Witte (NED)
International Jury	John Hatwell (NZL)
International Jury	Joanna Cotgrove (GBR)
International Jury	Adrian Higgins (RSA)
International Jury	Borut Golob (SLO)
International Jury	Régis Joly (SUI)
International Jury	Gocke Emine Deniz (TUR)
International Jury	Jessica Mc Alear (USA)



Die Wettkampfrichter sind ein wichtiger Bestandteil einer jeden Regatta und deshalb gebührt den vielen Ehrenamtlern ein dicker Applaus für ihren Einsatz während einer langen Saison. Unser Bild zeigt das große Team vor dem finalen Tag der Mixed-Rennen bei der Worldrowing Masters Regatta in Brandenburg.

【 ITO&NTO集合写真】

4. 会場施設

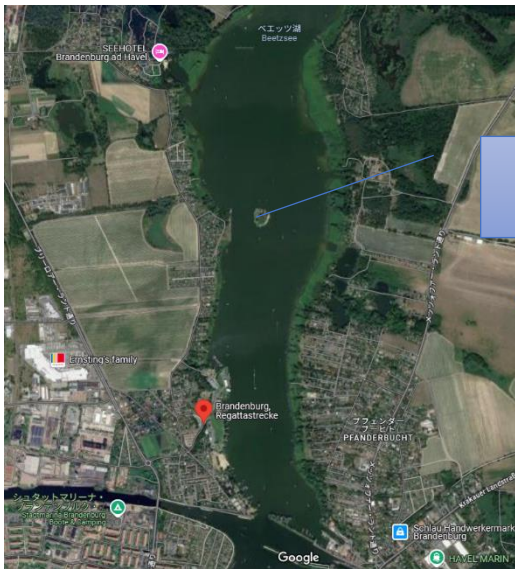
“Beetzsee” regatta course



- A – C: Boat Parks A to C
  - D: Boat and Oar Rental area
1. Accreditation Center/Registration
  2. Participant/Trailer Parking
  3. OC Parking
  4. Bus Stop (Line to/from Main Station)
  5. Parking for Disabled People/VIPs/Exhibitors
  6. Ergometers (Warm-up/cool-down/training)
  7. Bag Drop
  8. OC/NTO/ITO Area
  9. Entry Changes (RegattaCentral desk)
  10. Info Desk
  11. Doping Control
  12. Outgoing Pontoons
  13. Bow Number Distribution
  14. Control Commission
  15. Incoming Pontoons (HS = Hot Seat Pontoon)
  16. First Aid/Medical Center
  17. World Rowing Merchandising
  18. Boat Repairs/Services
  19. Volunteer Center
  20. OC/World Rowing Offices
  21. Market Place, Food Court, Entertainment
  22. Victory Ceremony Pontoon
  23. Finish Tower
  24. VIP Area
  25. Grandstand

【会場全体図】





湖中間にある離島脇からスタート

【コース全景】 1,000m (整地された伴走路なし)



**PreStart** が次のレースの艇を呼び込み。

レースを順調進めるととても重要なポジション。



8クルー 3分間隔のハードレースをこなすため艇の大きさに合わせトップの位置が変わります



艇の種類に合わせて、**Judge at the Start** も移動

【スタートエリア】



【フィニッシュエリア】

※計量（選手・艇）は、対象外

5. レースにおける特記事項

(1) 会場の様子について

3,000人超の参加人数も驚きでしたが、今まで知る機会がなかった多くのローイング関連会社も出店しており、まるで見本市も兼ねたような大会でした。



(2) 出場選手について

ダブルエントリーどころか、出場種目を変え、クルーを変え、スケジュールの許す限りの出場している選手を多く見かけました。監視業務中に選手に話しかけてみると出場する6～7レーススケジュールを見せてくれました。また、SNSでも頻繁に一緒に漕ぐ仲間を探す投稿があったりしていました。

80歳超の選手も活躍しており、表彰をされていました。そのはつらつとした姿に、こちらも元気をもらえるほどでした。



### (3) レーススケジュールもついて

この時期のドイツは、日本に比べて日没が遅く、レーススケジュールは、早朝 8:30~19:00 迄、8クルー3分間隔の超ハードスケジュールでした。

(初日 99 レース 2日目 162 レース 3日目 174 レース 最終日 173 レース)

PreStart が、次のレース艇を呼び込み、そのままスタートエリアに誘導することで、3分間隔でもオンタイムのレース運営となっていました。スタートもフィニッシュも3分間隔は、本当に慌ただしく時間が過ぎていきました。審判も終日従事することは厳しいため、前半と後半に分れて対応することになりました。

### (4) レース使用艇について

多くの選手が、自家用車の後ろの牽引車にボート載せて会場まで来ていました。欧州でいかにローイングが愛されているかを感じる場面でした。その他は、様々なローイング関係会社が用意した借艇、オールを使用していました。比較的新しい艇も多く、先月開催パリ・オリンピックで使用されたと思われる日本チームの艇もレンタルされていました。



### (5) 毎日の連絡事項について

毎日のスケジュールや連絡事項は、模造紙に記入されこれらを確認してから業務につきました。毎日が楽しみで、それぞれに和む感じがありました。



#### (6) 定年を迎えた2人について

70歳の定年を迎えた2人（NZL、GER）には、FISA審判ミニバッジ贈呈式がありました。審判長パトリックは、同日開催大会のイタリアにおいて、ビデオメッセージを頂きました。



#### (7) マスターズ大会らしさについて

マスターズの大会らしく、毎晩、会場内での催しあり、懇親を深める様子がありました。審判として仲間との再会や新たな出会いもありました。日本の審判員がマスターズ大会に参加するもう一つの任務には、参加する日本選手のフォローもあります。これらも十分に対応ができたものと思います。

大きな事故もなく、素晴らしい大会であったことに喜びでいっぱいです。ワールドローイング・マスターズOCメンバーには、様々な場面でフォローをしていただき、その運営に感謝いたします。



以上